

2月
16日

住み慣れた自宅で暮らしたい

～海部医療圏地域包括ケアサミット～

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター（略称あまさぼ）と海部地区7市町村主催による医療や介護について考える海部医療圏地域包括ケアサミットが開催され、海部地区の市町村長が参加し、わがまちの地域包括ケアシステムの仕組みづくりについてパネルディスカッションを行いました。

市では「みんなで支え、みんなでかわり安心して暮らせるまち」の実現に向けて、医療や介護が必要となっても、いつまでも住み慣れた地域で安心した生活を送ることができるよう、これからも地域の実情や特性に合わせた地域包括ケアシステムの構築を進めていきます。

今回、参加された皆さんは、熱心に講演やディスカッションに耳を傾けており、医療や介護への関心の大きさがうかがえました。



お知らせ

暮らしに便利

ハイノ119番です

健康ガイド

スポーツ

イベント

子育て1・2・3

まちかどtopics

3月
10日

春の訪れ

～勝幡オコワ祭～

勝幡神社の春の大祭である市指定文化財で、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」である勝幡オコワ祭。

集まった人たちからの「よいしょ」の掛け声とともに石にコモを叩き付け、樽が割れるとその中のオコワを奪い合う大変にぎやかな行事です。

子どもたちもオコワの奪い合いに参加し、無病息災で暮らせるというオコワや歯の痛みに効き、雷除けになるという樽の破片を手にとっていました。



2月
19日

農作物の占い

～日置八幡宮の管粥～

毎年、旧暦1月15日に行われる市指定文化財の日置八幡宮の管粥。今年は2月19日に行われました。早朝より、粥を分けてもらうために近所の方が鍋をもって訪れていました。この行事は15世紀ごろから続く農作物などの出来を占う行事です。

今年は、米のあさひの夢、レンコン、ネギ、大根、馬鈴薯が「上ノ上」と結果が出ました。氏子や実行委員会によると、大根や馬鈴薯などの根菜類を中心に良い結果が出たとのことでした。

